



須藤 安通 議員 (自民)

横田空域の削減に伴う羽田空港経路変更について

①平成20年9月25日から、米軍横田基地の空域削減に伴い、羽田空港から西方面への出発機について新たな飛行経路が設定され、福岡、広島、山陰とソウル方面が大田区と品川区内の一部を高度2千400mから2千700m程度で通過するようにになった。こうした飛行路線の変更や区内における飛行音の測定数値について、

地域活性化と人材育成について

過する飛行経路変更を求める意見書を平成16年5月に国へ提出したところ、品川区上空を通過する経路は不採用となり、区への影響は最小限に抑えられた。今後も羽田空港移転問題協議会等の機会をとらえ、意見調整を図っていく。

健康福祉事業部長 ①相談

やりハビリ等に対応できる専門的人材は極めて限られている。高次脳機能障害に含まれる失語症の方々の支援の経験を生かす等、個々の障害状態やニーズに応じたきめ細やかな相談に心がけていく。

健康福祉事業部長 ①相談

地球温暖化防止について区民へ協力を呼びかけた。補正予算を組み、CO2削減効果が大きいクリーンなエネルギーである住宅用太陽光発電システム設置の再募集をしては。



川西 絹子 議員 (民主)

環境問題への取り組みについて

①太陽エネルギー見本市で地球温暖化防止について区民へ協力を呼びかけた。補正予算を組み、CO2削減効果が大きいクリーンなエネルギーである住宅用太陽光発電システム設置の再募集をしては。

幼児教育無償化について

①子育て支援策の立場から、幼児教育無償化は大いに期待する。国も政権が交代をし、高等学校も含め教育費無償の法制化が進む状況にある。区の考えは。

子ども未来事業部長 ①無償化の実現には多大な財源が必要となるため、広く国民の理解が得られるよう、国政の場で具体策を検討されること

が重要と考える。

障害者自立支援法見直しについて

①医療的ケアが必要な障害者への訪問看護の実施について考えは。②日中の一時支援の場合に時間単位で利用できるような改善策を。③65歳介護保険の優先利用の廃止についての考えは。④巡回入浴サービスを月3回から週1回に改善することは。⑤自力で通って受ける入浴サービスを現

在の週2回から施設入所者と同じ週3回に改善を。⑥在学中の支援員、介助員や補助員の人權教育と完全配置について伺う。

れるよう、事前研修や配置後の研修を実施している。配置については、学校の状況と巡回相談等の内容を総合的に判断した上で決定していく。

健康福祉事業部長 ①区独自で訪問介護事業を行うこと

は法制度上困難で、家族が行う医療行為を指導する訪問看護指導事業が限度だ。②4月から1日単位での利用が可能となり、区内のショートステイにおいても必要に応じ対応をしている。③介護保険サービスと、補装具など障害の特性に応じたサービスの両者を組み合わせるにより必要な支援は可能で問題ないと考える。④週1回のサービスが今後基本と認識をしているので、検討をしていく。⑤今後の利用状況等を踏まえ、課題とする。⑥適切な対応がさ

高齢者住宅建設について

①国や都の補助制度の活用による高齢者住宅の今後の建設計画は。②住みかえ意向調査の結果について伺う。③大井町町高齢者住宅建設の具体的な計画の進捗状況は。

区長 ①国の地域住宅交付金制度を活用し、見守り機能を強化した高齢者住宅を計画している。②調査を7月に実施し、現在集計を行っているところだ。③建設用地について9月下旬には都が売却決定をする見込みだ。今後基本設計策定の中で具体化していく。

採択し、報告を求めた陳情について

平成21年第2回定例会で採択し、区長に報告を求めた陳情について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。品川区公園運動施設を身体障害者や高齢者が、気軽に安心して安全に利用する為に環境設備の見直しに関する陳情 八潮北公園、しながわ区民公園については、いずれも大規模改修等に併せて、身体障害者や高齢者の利便性が向上されるよう、施設の再整備を検討してまいります。

お知らせ

区議会では、本会議の詳しい記録として、会議録を作成し、後日、区内図書館に配布しています。

また、目の不自由な方には、本区議会だよりの朗読を録音したカセットテープを貸し出しています。ご希望の方は、区議会事務局調査係までお問い合わせください。

電話 (5742) 6810

①区民生活への影響は少ないとともに、国のホームページでの周知は行われているということから、区ではあえて周知を図ることはしていない。飛行音については、都が年間を通じて騒音測定を実施しており、現在のところ環境基準を超える騒音は測定されていない。今後、国や都からの情報や騒音等の実態を把握して、区民生活への影響を見きわめながら区民へ周知していく。

高次脳機能障害について

①高次脳機能障害の症状は十人十色で、個々の状況に合

ったきめ細かいケアが必要になる。区民が保健所や障害者福祉課等の窓口へ相談に行かれたとき、きちんと対応できる相談窓口の開設を提案する。

防災まちづくり事業部長

①区民生活への影響は少ないとともに、国のホームページでの周知は行われているということから、区ではあえて周知を図ることはしていない。飛行音については、都が年間を通じて騒音測定を実施しており、現在のところ環境基準を超える騒音は測定されていない。今後、国や都からの情報や騒音等の実態を把握して、区民生活への影響を見きわめながら区民へ周知していく。

②再拡張後の品川区上空を通過する飛行経路変更を求める意見書を平成16年5月に国へ提出したところ、品川区上空を通過する経路は不採用となり、区への影響は最小限に抑えられた。今後も羽田空港移転問題協議会等の機会をとらえ、意見調整を図っていく。

③外へ出て買い物したり食事をする等、家族以外の方々と行う日常の行動の動作によって障害の回復が図られ、就業支援につながる。移動支援の体制整備の構築を提案する。